

## 第139回長崎大学経営協議会（書面会議）議事要録

1 日 時 令和5年8月30日（水）～9月14日（木）

### 2 議 事

#### (1) 国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況等について

本年10月末までに公表することとされている令和5年度の国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況について、本年10月31日を基準日とし、記載内容を変更したことから、その適合状況等について、資料1に基づき、書面により審議した結果、議長を除き、「承認」20名の回答を得たため、原案どおり了承された。

なお、公表にあたっては、すべての原則への適合状況について経営協議会及び監事に確認することが求められていることから、今回意見等があった事項について最終対応を行い、10月5日の本会議にて改めて審議することとしている。

（委員からの主な意見等）

[整理 No.9 コード No.1-3④について]

- ・「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の結果を踏まえた配分を実施し、評価が高かった部局への再配分、低かった部局からの引き上げを行い、各種指標の改善を促進することにより、外部資金の収入増につながる仕組みを構築している。」と記述されているが、その仕組みとはどのようなものか確認したい。

[全体について]

- ・ガバナンス・コードへの適合状況について、経営協議会としては、こうした規定や仕組みを動かすことで、長崎大学が目指す姿に向かっていることをフォローしていくことが重要と認識している。例えば、「成果を中心とする実績状況に基づく資源配分」に関して長崎大学として各種指標（どの指標を重視すべきかも含め）の改善に向けた戦略をもち、それに照らしてどのような手を打ち、どのような効果を上げているかをフォローすることが重要だと考える。その観点からも、まずはIR推進本部が分析・可視化したデータに基づいて、どのような取組を進め、どのような効果を上げているのかについて確認したい。

（以上）